②大商大ビジネス･アイディアコンテスト

「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とする本学では、ビジネス社会における諸問題を発見・解決できる能力の育成を目指し、起業家精神あふれる人材を育成しようとする取組の一環として「ビジネス・アイディアコンテスト」を開催しています。



起業家精神の涵養と起業家的な資質・能力の育成を目標として、本学の学生・大学院生を対象として 2003 年度から毎年実施する新しい商品・サービスやビジネスモデルのアイディアを競うコンテストです。



第 11 回では、第 10 回大会から自由部門と企業からの課題に取組む課題部門を設定し 2 年目となりました。課題提供企業も新たに東大阪ラグビーグッズ創生クラブ、株式会社ザグザグ、旭電機化成株式会社の 3 社に協力いただき、優秀作品の商品化によって地域振興へも貢献したいと考え、現在企業と連携し商品化に向け進めています。



またブラッシュアップ講座として、第 1 回プレゼン道場を平成 25 年 8 月 27 日（火）11:00 ～ 13:00、第 2 回を平成 25 年 8 月 30 日（金）11:00 ～ 13:00 に第 1 次審査通過者を対象に①プレゼンテーションとは②プレゼンテーションの流れ③基本スキルはこれだ（話し方、視線配置、ジェスチャー）④プレゼンテーションで大事なプラスα⑤これからのスケジュール⑥プレゼンテーション実技の内容で行いました。



次に新規講座として、アイディア･ブラッ

シュアップミーティングを旭電機化成株式会社専務取締役　原守男氏を講師として、平成 25 年 8 月 28 日（水）11:00 ～ 13:00 に第 1 次審査通過者を対象に①アイディアについての考え方②アイディアの膨らまし方③アイディアのブラッシュアップ方法④アイディアの事例を交えてのグループワークを行いました。


審査会

本コンテストの副賞として、世界の動向を肌で感じられる機会となる海外ビジネス研修を実施しました。今回の海外ビジネス研修では、国を越え現地の方と心を通わせることによって、いつまでもあせることのない思い出と人間関係を築き、その国の良さを知り、同時に日本の良さにも気づく海外ビジネス研修を実施しました。



海外ビジネス研修

たとえば、

・現地で活躍する日系企業を視察する。
・現地の語学学校で日本語を学ぶ学生と一緒に授業を受け、日本語教育の簡単なサポートを行う。その後、スポーツ交流、学外散策を行う。
・民家を訪問しホームビジットを行い、その国の生活を学び人との交流を図り、異国での人間関係を構築する。そのための事前学習として、ベトナム、ミャンマー出身の留学生と交流をはかり語学学習を開催する。
・ JICA 独立行政法人国際協力機構と連携を図り、現地での日本の支援・サポートの現状を視察し、現地で活動されている方から活動内容や体験談を聞き交流を図る。
・事前学習として JICA 関西を訪問し、国際協力や異文化について学び、日本と世界とのつながりを理解する。
・訪問国の理解と関係をより深めるため、本学で開催されたベトナム領事による市民ビジネス講座を受講するとともに、ベトナム領事館を訪問し施設の視察と領事と面談を行う。

学生があらゆる場面でいろいろな経験・体験できるプログラムを構築し、そのことにより起業家精神あふれる人材を育成したいと考えています。

第11回 大商大 ビジネス・アイディアコンテスト 結果発表

学園祭である 10/26（土）に、第 11 回大商大ビジネス・アイディアコンテスト 最終審査である第 3 次審査が開催され、各賞が発表されました。各賞のご紹介をいたします。

学長賞



総合経営学部商学科 3 年　岡本 梨沙
「脂肪もコストも燃焼!!フィットネスクラブ」

副学長賞



経済学部経済学科 4 年　桂 怜央奈
「ハンズフリー買い物カゴ」

東大阪商工会議所会頭賞

経済学部経済学科
4 年
田代 翔太
「オシャレ蛍光ワッペン」



NPO 法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞

経済学部経済学科
2 年
片岡長祥
「広告パーキング」



審査員特別賞

総合経営学部経営学科
2 年
蔵下 真美
「ロケット綿棒」



経済学部経済学科
4 年
野田 将
「～World Chips～」



総合経営学部商学科
1 年
山口 綾乃
「トライくんと
プリクラ撮ろう！」



総合経営学部経営学科
3 年
中西 健朗
「ふれあい・ペット広場」



企業賞

総合経営学部公共経営学科
2 年
中本 良輝
「ザグザグシアター」



総合経営学部経営学科
3 年
石田 幸多
「ラクラクプラグ
～テラシー君～」



海外ビジネス研修 (2014.2.10〜2.14 ベトナム ホーチミン)

本コンテストの副賞として、世界の動向を肌で感じられる機会となる海外ビジネス研修を実施しました。今回の海外ビジネス研修は、国を越え現地の方と心を通わせることによって、いつまでもあせることない思い出と人間関係を築き、その国の良さを知り、同時に日本の良さにも気づくプログラムとしました。

1日目 2/10(月)
関西国際空港 10:30 発／ホーチミン 14:10 着
午後　戦争証跡博物館見学／ホーチミン泊

2日目 2/11(火) ホームビジット体験

午前：ホーチミン⇒ミトー移動
　　タイソン島視察
午後：ミトー⇒タンタック村移動
　　ホームビジット体験　村内散策（工場、水田散策）
　　ホストファミリーとの交流とベトナム家庭料理体験
　　ミトー泊
【ホームビジット体験】現地の暮らしを体験、村民の方と一緒にタンタック村を散策。
　　水田の見学や、ココナッツ作業所を訪れ、村民の生活を身近に感じました。



3日目 2/12(水) 企業講演・視察

午前：ミトー⇒ホーチミン移動
　　エボラブルアジアの企業視察
　　代表取締役社長 薛さんによる講演会
　　国営百貨店サイゴン・タックス・トレード・センター視察





JICA視察

午後：JICA 南部連絡所訪問
　　取組事業についての説明とビンフン下水処理場視察
　　『ホーチミン市下水管理能力開発プロジェクト』





4日目 2/13(木) 語学学校との交流

午前：さくら日本語学校
　　日本語クラス授業参加と交流
午後：さくら日本語学校の学生との学外散策
　　ベンタイン市場視察


学生交流


授業風景

5日目 2/14(金)
ホーチミン　00:10 発
関西国際空港　07:00 着

海外ビジネス研修事前学習

海外ビジネス研修（2014.2.10〜2.14 ベトナム ホーチミン）の事前学習として、ベトナムからの留学生との交流・語学学習、ベトナム関係講座への参加、JICA（国際支援機構）と訪問国のベトナム領事館を訪問し、ベトナムとの関係づくりと深い交流につながるきっかけづくりとして実施しました。

ビジネス研修説明会



第1回　平成25年11月14日（木）18:00〜19:00
　●海外ビジネス研修について（概要・期間・内容・海外旅行傷害保険等）
第2回　平成25年12月17日（火）12:15〜13:00
　●企業視察、語学学校との交流とホームビジットの概要説明●事前学習について
第3回　平成26年1月23日（木）15:40〜17:00
　●海外ビジネス研修での行程説明と役割分担●海外ビジネス研修後について

講座に参加

【市民ビジネス講座】（大阪商業大学比較地域研究所主催）

①平成25年11発14日（木）19:00〜20:30
　「最近のベトナム経済動向と日本の経済交流」
　　在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館　領事　カオ アイン ジュンさん
②平成25年11月28日（木）19:00〜20:30
　「中堅中小企業の東南アジア進出の実態と展望」　甲南大学経営学部教授　安積敏政さん

ベトナム出身留学生からの語学研修

平成25年12月17日（火）12:15〜13:00

ベトナム出身の留学生グエン ティ ゴク ヒエンさんと交流を図り、ベトナムの環境・気候・地理について教わり、現地で交流を図るためベトナム語の基本挨拶から視察・レストラン・ショッピング時に役立つ会話を学びました。



ミャンマー出身留学生と交流

学生生活課が開催しました「ミャンマーと国際交流　お話会」に参加し、ミャンマー出身の留学生ルイン マー ウーさんにミャンマーの国のことを伺い、ベトナムの隣接国の内容も理解する機会となりました。



JICAベトナム領事館訪問

日時：平成26年1月23日（木）10:00〜16:30

場所：独立行政法人国際協力機構 関西国際センター(JICA)　（神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2）
　　ベトナム領事館 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館　（大阪府堺市堺区市之町東4-2-15）

【スケジュール】
10:00〜12:00 館内見学および JICA 事業紹介 JICA ベトナムでの活動体験談
　　講師：兼田 奈津子（かねだ なつこ）さん
　　派遣国：ベトナム ダナン市
　　職種：村落開発普及員（防災）
12:00〜13:00 海外食事体験
14:00〜14:30 ベトナム領事館訪問
　　領事カオ・アイン・ジュンさんとの面談、施設見学
15:30〜16:30 第3回海外ビジネス研修　説明会





第11回 大商大ビジネス・アイディアコンテスト

学生のアイディアを商品化実現へ

東大阪商工会議所会頭賞　経済学部経済学科 4 年田代翔太さん（アイディア名「オシャレ蛍光ワッペン」）は、課題名「新しい高齢者サービスを考えよう～ドラッグストアの枠に囚われない新しいコンセプトのサービス～」の提供企業である旭電機化成株式会社の協力のもと、商品化の実現に向け進めています。数回におよぶ打合せ、アンケート調査、市場調査の実施から結果報告書の作成とその報告、試作品づくりを経て、現在商品化にむけ邁進しています。





『オシャレ蛍光ワッペン』とは、車のライトなどの光が当たることで、自分の存在を知らせることができる高輝度反射ワッペンです、歩行者の服やカバン、帽子など自分の思いのところに取り付けることができる、オシャレな交通安全対策商品です。

【アイディア誕生から商品化に向けての経過】

平成 25 年 10 月 26 日	第 11 回大商大ビジネス・アイディアコンテスト ファイナルプレゼンテーション　東大阪商工会議所会頭賞受賞
平成 25 年 11 月 27 日	第 1 回旭電機化成と打合せ ・アイディアの紹介（第 1 試作品） ・安全商品の物品の確認・商品化までの過程を確認
平成 25 年 12 月 9 日	布施警察署を訪問 ・高齢者の交通事故件数を確認 ・高齢者事故の事例を確認 ・安全商品の物品事例を確認
平成 25 年 12 月 11 日	第 2 回旭電機化成と打合せ ・布施警察署での調査結果を報告 ・ターゲット、使用場所（シーン）、原価等を確認
平成 25 年 12 月 26 日	第 3 回旭電機化成と打合せ ・アンケート調査実施の依頼 ・デザイン・サイズ・イメージを本格的な型の第 2 試作品を製作
平成 26 年 1 月 11 日～21 日	アンケート調査実施





平成 26 年 1 月 22 日	第 4 回旭電機化成と打合せ ・アンケート調査結果を報告 ・第 2 試作品を製作
平成 26 年 1 月 27 日	第 5 回旭電機化成と打合せ ・東京ギフトショーでバイヤーの意見を確認するための 第 3 試作品を製作
平成 26 年 2 月 5 日～7 日	東京ギフトショーで試作品に対するマーケティング調査実施



〔旭電機化成㈱について〕

創業以来 50 年、プラスチックの成型を中心に最近ではプラスチックを有効に利用したオリジナル商品を開発。自社製品開発に企画提案制度を導入し、自社はもちろんのこと、一般の方からのアイディアも商品化している企業。